

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもデイサービスわこう吉		公表日		2025年3月21日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		地域の公園や体育館を利用し広いスペースで活動を行える機会を設けている。	基準には満たしているが、利用人数により狭くなることもある。家具等の配置で施設内の動線や活動スペースの確保を行う。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。			基準人員+1となるよう配置している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	玩具の配置はこども達に分かりやすいよう箱ごとに分けて配置したり写真にて片付け場所がわかるよう工夫している。	玄関の段差・トイレの手すりが設置できていない。必要に応じて設置が必要。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		日々清掃を行っている。活動に応じて机等の配置を工夫している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		クールダウン室を設け個別の対応をすることができ環境を作っている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		支援の目標の確認と振り返りを申し送りで行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価内容の結果を職員で共有し業務の改善につなげている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員一人一人の意見を大切に業務・支援に反映している。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現在は第三者により外部評価は行っていない。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		月に1回の施設内研修と外部研修を受講している。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		職員全員で作成しHPIにて公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		モニタリング・アセスメントを行い個別支援会議を行った上で個別支援計画を作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		本案を作成する前に職員で話し合い今後の支援について共通理解を図りこどもにとって何が必要か検討している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		毎月振り返りを行い、サービス等利用状況報告を作成している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日々の様子から判断しながら、確認し共有している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		放課後等デイサービスガイドラインのねらい及び支援内容を踏まえながら、こどもの支援に必要な項目と五領域を含めて、モニタリング・アセスメントから計画作成を行っている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		事業所がチームとなりプログラムの立案を行っている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		毎月プログラムを考え、季節に合ったプログラム等固定されないよう工夫している。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		こどもひとりひとりの個別の課題・集団の課題を考え計画を作成し支援を行っている。		

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		申し送りをし職員での情報共有、伝達を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		気付いた事があれば適宜話し合い共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の支援を記録をしどのように支援を行ったか改善したか記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		計画の更新前にも必要であれば見直しを行い計画を作成している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		4つの基本活動を意識しながら活動プログラムを立て支援を行っている。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		子どもが自己選択できる場を設けている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		会議の前には職員で子ども最近の様子を話し、こどもの様子を会議で共有している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		こども部会等地域の研修に参加し関係機関と関係を作り連携し支援を行う体制を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校からの通信を確認し情報共有を行っている。送迎時間に遅れ等がある場合は電話連絡し連絡調整を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		担当者会に参加し就学前の様子の聞き取りを行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		現在、該当児童はいないが移行する時には情報提供を行う。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		現在、スーパーバイズや助言・研修の機会はありませんが開催時は積極的に参加する。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		地域の児童館等を利用し交流する場を作っている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		管理者が参加し情報を共有している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳・送迎時にこどもの状況を伝え共通理解を図っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		外部より研修案内が届いた時はご家族様にも情報を提供している。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		行事・活動を検討する時にこどもや保護者の方の意見も参考し作成している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		保護者の方に説明し同意を得てから支援を実施している。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		送迎時や必要に応じて面談を行い相談支援を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○		年に1回の保護者会・夏祭り・クリスマス会を通し保護者・兄弟が交流できる機会を設けている。	
41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情があった場合は迅速に対応し職員で共有し再発防止に努めている。		

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		定期的にHP等を活用し発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		職員から個人情報保持の誓約書を記載してもらい個人情報の取り扱いについて留意をしている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		相談支援専門員さんを変えながら情報共有を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	○	現在、地域住民を招待する行事を行っていない。今後の開催を検討する。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを作成し事業所に掲示している。マニュアルに基づき発生した時の訓練を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定し避難訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		こどもの状況を把握し対応について職員で共有している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		現在該当者（重度アレルギー症状の児童）はいないが必要に応じて医師の指示書を参考に対応していく。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		避難訓練やAED研修等を行い安全管理に努めている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		事業所内に掲示し周知をしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットを作成し職員で振り返り・再防止策を検討している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		委員会を設置し適宜研修を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		現在、該当児童はいないが必要な場合は手順に沿って行う。		